

冲高生の軌跡（キセキ）

令和6年6月12日

掲載元：奄美新聞
掲載日：6月2日

2024 県高校
（総体）

2024年度県高校
総合体育大会（県高体
連主催）は1日、県内
各地でバレーボール、
剣道など4競技があつ
た。バレーボールは1
・2回戦があり、男子
は大島北、大島、女子
は大島、徳之島が3回
戦進出を決めた。5月
31日のラグビー3位決

定戦に臨んだ大島は、
加治木工業に敗れ4位
だった。
結果は次の通り。

バレーボール

（西原商多リリーナ）

【男子】▽1回戦

樟南第二2（27-25、

25-23）0串良商業、

錦江湾2（25-22、25

-14）徳之島、奄美2

（25-18、25-19）0

伊集院、沖永良部2

（25-11、25-17）0

国分、大島2（25-1

25-12）0屋久島▽2

回戦 川内商工2（25

-15、25-8）0樟南

第二、鹿児島工業2

（25-7、25-9）0

奄美、鹿児島玉龍2

（25-11、25-17）0

沖永良部、大島北2

（25-12、25-12）0

頤娃、大島2（25-22、

25-20）0鶴丸

【女子】▽1回戦

神村学園2（25-22、

25-11）0奄美、枕崎

・川辺・薩南工業合同

2（25-12、25-8）

0古屋・喜鼻合同、

加世田2（25-15、25

-14）0与論、大島2

（25-6、25-14）0

屋久島、川内2（25

-12、22-25、25-16）

1沖永良部、樟南第二

2（18-25、25-21、

25-7）1錦江湾、大

島北2（25-10、25-

10）0指宿、徳之島2

（25-21、25-18）0

国分▽2回戦 大島2

（25-16、29-27）0

松陽、鹿児島中央2（25

-13、25-17）0樟南

第二、徳之島2（25-

22、25-13）0大島北

掲載元：南海日日新聞
掲載日：6月3日

「島むにの日」制定を

沖永良部島

方言継承に向け意見交わす

沖永良部島ではシマムニ
（方言）の保存に向け、語
呂合わせで6月2日を「島
むにの日」に定めようとい
う動きが高まっている。方

には効果的な施策」と期待
を込めた。

地元の高校生やシマムニ
話者、島外から移住してシ
マムニを学んだ人などが自
身の経験や考えを発表し
た。



言継承に取り組み「島ムニ（田中美保子会長）は2日、
むんちやの島ムニ保存会」知名町役場で「島むに情報

交換会」を開いた。昨年6
9月に続き3回目。地域住
民や研究者など約40人が参
加し、シマムニにまつわる
体験談や継承への思いを共
有した。

同島では住民を主体とし
たシマムニの継承活動が盛
ん。和泊、知名の両町は2
019年1月に国立国語研
究所と連携協定を結び、専
門家の協力を得て方言の保
存・記録を進めている。和
泊町では20年8月、町島ム
ニ継承推進協議会（先田光
演会長）も発足した。

情報交換会では、先田会
長が島全体で記念日を制定
することの意義を強調。「方
言を継承する雰囲気づくり

「島むにの日」制定を目指
し、参加者らが意見を交わ
した情報交換会。2日、知
名町役場

沖永良部島の民謡を島内
2地域のシマムニと英語で
語る読み聞かせや民謡の演
奏もあった。

沖永良部高校1年の丸山
陽暉さん（15）は「初めて
知る継承活動もあった。方

言を話せるようになって、
お年寄りから昔のことなど
を聞きたい、主催した田
中会長は「シマムニを残し
たい、話したいという人が
増えていると肌で感じられ
た」と笑顔で語った。